

の紙本

主義 信條

本紙は本社の私有的にあらざる社会公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

本紙は本社の私有的にあらざる社会公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

湯本 信用 株式會社

湯本 信用 株式會社

平看護婦會

告

磐城之實業社

磐城之實業

本紙は本社の私有的にあらざる社会公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

本紙は本社の私有的にあらざる社会公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

本紙は本社の私有的にあらざる社会公的言論機關也常に紙面を開放して何人の爲めにも其利用を快諾し特に主として實業界の機關となり努めて實益を主眼とす

悟道の聖地 與平迂人

△悟るといふことは人生で最も幸福なことである。△悟るといふことは人生で最も幸福なことである。△悟るといふことは人生で最も幸福なことである。

何時の世にも跋扈 昔から取締りに苦心した爲政者の話

人間の慾求から生れたた笑の始めであらうといふ。人間の慾求から生れたた笑の始めであらうといふ。人間の慾求から生れたた笑の始めであらうといふ。

海難救済の爲め 燈臺のラチオ化

△全船舶にも無線電信を施設する。△全船舶にも無線電信を施設する。△全船舶にも無線電信を施設する。

土佐の燈臺

△土佐の燈臺は、北の海岸にあり、南の海面に照らす。△土佐の燈臺は、北の海岸にあり、南の海面に照らす。△土佐の燈臺は、北の海岸にあり、南の海面に照らす。





象といふべきは市中に... 女の姿が見えなくなる... 此處に現出した此の時代...

星幼稚園

親切第一の精神... 幼稚園の第一は親切... 幼少の教育を爲し...

浴場

浴場は第一の工場... 浴場は第一の工場を南に... 浴場は第一の工場を南に...

運動部

運動部は第一の工場... 運動部は第一の工場を南に... 運動部は第一の工場を南に...

別荘

別荘は第一の工場... 別荘は第一の工場を南に... 別荘は第一の工場を南に...

星製薬王と語る

星製薬王と語る... 星製薬王と語る... 星製薬王と語る...

漸く浮び上る炭礦會社

漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社...

平和な學校

平和な學校... 平和な學校... 平和な學校...

火の元ご用心

火の元ご用心... 火の元ご用心... 火の元ご用心...

化粧品部を設け... 第二の工場は市外大... 町に在り工場敷地二萬餘...

京染の取次

京染の取次... 京染の取次... 京染の取次...

未だの旦那は政治家也

未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也...

炭山の労働

炭山の労働... 炭山の労働... 炭山の労働...

吐々怪事の警城共済會

吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會...

投書お願ひす

投書お願ひす... 投書お願ひす... 投書お願ひす...

星製薬王と語る

星製薬王と語る... 星製薬王と語る... 星製薬王と語る...

漸く浮び上る炭礦會社

漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社...

平和な學校

平和な學校... 平和な學校... 平和な學校...

吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會...

火の元ご用心

火の元ご用心... 火の元ご用心... 火の元ご用心...

炭山の労働

炭山の労働... 炭山の労働... 炭山の労働...

未だの旦那は政治家也

未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也...

京染の取次

京染の取次... 京染の取次... 京染の取次...

漸く浮び上る炭礦會社

漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社...

平和な學校

平和な學校... 平和な學校... 平和な學校...

星製薬王と語る

星製薬王と語る... 星製薬王と語る... 星製薬王と語る...

火の元ご用心

火の元ご用心... 火の元ご用心... 火の元ご用心...

吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會... 吐々怪事の警城共済會...

炭山の労働

炭山の労働... 炭山の労働... 炭山の労働...

未だの旦那は政治家也

未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也... 未だの旦那は政治家也...

京染の取次

京染の取次... 京染の取次... 京染の取次...

漸く浮び上る炭礦會社

漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社... 漸く浮び上る炭礦會社...

平和な學校

平和な學校... 平和な學校... 平和な學校...

星製薬王と語る

星製薬王と語る... 星製薬王と語る... 星製薬王と語る...

火の元ご用心

火の元ご用心... 火の元ご用心... 火の元ご用心...

炭山の労働

炭山の労働... 炭山の労働... 炭山の労働...

益々發展たき方々

川瀨炭礦常磐礦業所
石城郡赤井村
川瀨幸治
川瀨貞治

ぬる湯温泉
腦病、眼病に苦む人、産前後、神経痛
血の道一切に特効あり

平町三丁目(電四一八番)
佐川洋服店營業部
平町南町通(電二六九番)
佐川洋服本店

中山岩を大勉強に販賣
致します。
△建築用として△石垣用として

湯本株式會社
大藏省免許
石城郡湯本町
電話四十七番

本紙は本社の私有的にあら...
本紙は絶対不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の

本紙は本社の私有的にあら...
本紙は絶対不可侵の權威を以て論議公正にして愚劣無價値の記事を採らず磐城地方唯一の

五色温泉
私設電話、電燈の設備あり
宗川旅館

撰精料材
強勉大
所進調子菓御
町北字町名江郡城石

銘酒鶴仙釀造元
松吉屋本店
石城郡平窪村
電話二四一四番

釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番一三九番

靈湯御案内
溪流あり、瀑布あり、山に倚り、谷に
沿ふての風光頗る佳絶

内湯桂屋旅館
館主 四電太郎兵衛

看護婦派の求めに應ず
平看護婦會
電話三〇七番

磐城病院
(外科) 花柳病科
(内科) 小兒科
院址 石城郡平窪町

只野忠康
建築請負業
平町南町

民刑事 辯護士 草薙勝衛
赤城 茂

高湯 玉子湯旅館
館主 後藤寅治

看護婦派の求めに應ず
平看護婦會
電話三〇七番

産婆 草野ナツ
平町白銀町十一番地
平劇場前通の東隣り

七日本型(壹坪)
瓦ト逸型(全上)
平町南町

清光堂分店
平町搔樋小路
電話三一五番

地所埋立請負
平町南町

合資工榮商會
平町南町

磐城之實業社(平町吉)
經營者 大和田與平